

2020年3月13日

各 位

第一工業製薬株式会社

「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」3年連続で最高ランクを取得

第一工業製薬（本社：京都市南区、会長兼社長：坂本隆司）は、株式会社日本政策投資銀行の「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」（以下、「DBJ 健康格付」）において3年連続で最高ランクを取得しました。

「DBJ 健康格付」融資は、DBJ 独自の評価システムにより、従業員への健康配慮の取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、特に次の取り組みが高く評価されました。

- (1) 高度な労働安全衛生を基盤とした全社横断的な健康経営体制のもと、自社課題に応じた重点施策を設定し、その進捗・達成を測る KPI を明確化するなど、着実な健康経営の PDCA を推進している点。
- (2) 自発的な健康行動の取り組みを推進すべく、新たに「従業員健康行動指針」を策定したことに加え、社内報や健康挑戦カードを用いて個人個人の健康目標やその達成度を確認するなど、独自施策の展開により従業員の健康意識の向上に努めている点。
- (3) 多様な社員の能力を最大限に引き出し活躍できる環境を整えるべく、在宅勤務・時間単位年休制度の導入や、共創を生むための空間としてコミュニケーションラウンジを設置した点。

『第一工業製薬は、従業員を会社の財産と考え、従業員の健康の維持向上に努めます。』の健康宣言のもと、全社をあげて健康経営に取り組んでいます。

以上

・本件についてのお問い合わせ  
第一工業製薬株式会社 広報 IR 部  
TEL. 075-323-5951